

## 「持続可能な米づくりの確立」の進捗状況

農山漁村振興課

### ○令和5年度末の進捗状況

(1) 主食用米の生産面積は、従前からの農地中間管理事業をベースとした取組により、水稻の担い手への集積面積は7,430ha、全体の46.7%のシェア率となりました。

○主食用米担い手シェアの進捗状況

		H30	R1	R2	R3	R4	R5
①	農地中間管理事業集積面積 (ha)	410	407	752	391	374	267
②	主食用米に換算 (*70%) (ha)	287	285	526	274	262	187
③	担い手の主食用米生産面積 (ha)	5,896	6,181	6,707	6,981	7,243	7,430
主食用米の担い手シェア実績 (%)		<b>34.3%</b>	<b>36.6%</b>	<b>39.9%</b>	<b>42.3%</b>	<b>45.0%</b>	<b>46.7%</b>

(2) 低コスト生産の実現については、国や県の補助事業を活用した低コスト技術の導入が進み、各地域で農業用ドローンを活用した広域的な防除や追肥、中山間地域におけるリモコン草刈機、高密度での播種・育苗技術や直播栽培の導入が広がっています。

しかし、低コスト技術の導入は進んでいるものの、資材・光熱費の高騰や近年の気候変動等による低収量の影響で、生産コスト9,600円/60kgを達成できた担い手は全体の7.6%にとどまっています。

○導入技術数の推移

	高密度播種育苗	ドローン	リモコン草刈機	アーム式モア	直播き	自動給水システム	【参考】自動操舵
R3	52	82	18	13			
R4	60	101	23	20	31	6	27
R5	65	133	25	24	33	7	35

(3) 気候変動への対応や収益性改善に向けた取組として、品種構成の見直しを進めています。

○島根県主要品種の構成割合 (%)

	R3	R4	R5	R6
つきあかり	—	0.2	0.6	1.3
コシヒカリ	51.8	48	47.5	45.3
つや姫	8.3	10	10.5	10.1
きぬむすめ	31.7	35	34.7	35.7

※R6は見込み

※主要品種のみであり、合計は100%にならない



○担い手を交えた「つきあかり」の普及検討